

# 新しい学校を木屋瀬からつくります

## 学校経営の基盤

- 公教育の立場を踏まえて  
日本国憲法・教育基本法・学校教育法等諸法令  
全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持つ。
- 時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を  
感染対策。命を守ることを最優先課題に。  
チーム木屋瀬⇒全教職員が子供のため結束・協力する。  
教育課題⇒With コロナに対応したカリキュラムマネジメント  
働き方改革⇒思い切った業務改善の実施、残業時間減の工夫  
コグトレ・持合い授業・M/Tリソグ 研修導入⇒皆で育てる学級
- 新学習指導要領への対応  
ICT 活用学習への対応  
外国語教育・特別な教科道徳への対応  
命を守る教育への対応

困難に立ち向かい、自らすることを決めて行動し、  
伝え合うことができる子どもの育成

自ら考え 心豊かで たくましい子供の育成

子ども・保護者・地域・教師の願い

- (子) 分かってほしい・できるようになりたい。
- (子) ほめられたい、認められたい。
- (保) 毎日、喜んで学校に行ってほしい。
- (保) 友達と仲よく・元気に明るく過ごしてほしい。
- (地) 挨拶ができ、一生懸命働く子になってほしい。
- (地) 地域を愛し、地域を大切に子どもに育ててほしい。
- (教) 自分の良さを知り、自信をもって未来を歩んでほしい。
- (教) 学ぶ楽しさや働く喜びを知り、自己研鑽に励んでほしい。

令和4年度バリュー **《みんなで つくりだす》**

🎯 **考え、決める(自己決定)**

👉 **行動する(自己創出)**

🗨️ **伝え合う(自己認識・自己肯定)**

アイデアに価値はない。それを実行できてはじめて価値になる  
Google 共同創業者ラリー・ペイジ

<b>サイエンス</b> 思考力・決定力	<b>スポーツ</b> 行動力・忍耐力	<b>アート</b> 創造力・表現力	<b>パーソナリティ</b> 集団力・人間性	<b>ポータルライ</b> 全ての基盤
-------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------------	------------------------

## 校区の特性

- 古くより長崎街道の追分宿場町として栄えた文化がある。
- 熱意をもって指導すれば気持ちが伝わる心意気をもった校区。
- 産炭地として栄え、近代社会を支えた。
- 住宅地でありながらも、豊かな自然に囲まれている。そばに遠賀川、笹尾川、黒川が流れ、校内に昆虫や野鳥が姿を見せる。

## 「なぜ学ぶのか」

## 「なぜそろえるのか」

## 「なぜつながるのか」

人生を楽しむため【選択の場面→良い選択ができる】

- 人生には**選択する場面がたくさんある**
  - ・友達から誘われた▶遊びに行く?行かない?
  - ・友達が何か怒っているけど理由が分からない。尋ねる?無視する?
  - ・今日寒そうだけどコート持って行く?持って行かない?
  - ⇒ その選択に後悔したことはないか?良い選択をしたくないか?
  - ⇒ **良い選択**をするためには、**知識と経験、見通す力、決定する力**が必要
- 知識と経験**
  - ・絶対に必要な知識・技能とあると便利な知識・技能とは?
  - ・小学校時代にさせておくべき体験とは?
  - ・何が何でも身に付けさせるための手法とは?
  - ⇒ ユニバーサルデザインの授業づくり、ICT を生かした学習指導
- 見通す力**
  - ・こうしたらこうなると予測する。一瞬で何? ターン予測できるかが違い
  - ・どうしたら見通せるのか? ■思考力・判断力
  - ・どうしたら思考力・判断力は身に付くのか?
- 決定する力**
  - ・人は悪い方向へは考えたくない生き物。究極の選択の経験に乏しい
  - ・どの選択にもリスクはある。常に大きな目的に立ち返り挑む精神をもつ。
- 実行する力**
  - ・失敗を恐れない。失敗から学べば大きな経験となる。同じ失敗は✖
  - ・実行は一人でも行う覚悟がいる。孤独に耐える力が必要
- 自己認識する力**
  - ・自分の価値を感じる時間、なくてはならない時間
  - ・困難を超えて自分自身の実行価値を感じる事が新しい自己創出の場面
  - ⇒ 伝え合うことから、認め合うことへ  
(自己肯定感の向上からインクルーシブへ)

深い学びには**仲間**の力が必要だから【**集団**で効率よく学ぶ条件】

- 上級生が作る学校**
  - ・先輩から何を学ぶのか、後輩に何を学ばせるのか
  - ・あいさつ、掃除、そろえる(靴・傘・雑巾・道具・ルール)
  - ・誰かのために役立っている自分を誇りに→感謝のメッセージ
- 笑顔のあいさつ(木屋瀬中学校区の目標~あいさつ日本一)**
  - ・「おかめ」のあいさつ(大きな声で、体を起こして、目を見て)
  - ・いつ・どこで・どのように(いつでも・廊下や外で・立ち止まって)
  - ・教師も保護者や来校者、お世話になった方に(送るときは玄関で)
  - ・教師や上級生が手本を示す。すべての子供に応答する
- そうじ・そろえる→感謝で指導する**
  - ・掃除の意味と仕方を教える。(掃き方・拭き方・順序・割当て方)
  - ・奉仕に対して、認められる場、感謝される場を設けたい
- コグトレ、対人スキルアップをベースに(仲間を育てる言葉の力)**
  - :どうぞ、ありがとう、すごい、やるね、助かる、大丈夫?
  - ×:うざい、きもい、むかつく、死ぬ、チビ、ばか、デブ
  - ・チャンレンジタイムのコグトレ、道徳の時間のスキルアップ
- 木屋瀬中校区授業5則も「なぜ」から始め、結果からなぜの意味に戻る**
  - ① チャイムで始め、チャイムで終わる
  - ② 礼に始まり礼に終わる(先言後礼)
  - ③ 自分で行う準備と片付け
  - ④ 机をそろえ、姿勢を正しくする
  - ⑤ 相手を見て最後まで話を聞く
- 木屋瀬小学校みんなのルールの「なぜ」を徹底**
  - ・全て子どもといっしょに木屋瀬ルールを確認する
  - ・ポイントを決めて徹底する→名札、帰宅時間、持ち物等(認めて育てる)

成長は学校だけではできないから【**子ども**のつながりにつながる】

- 子どもと**
  - ・子どもの目線に落ちているか?一人一人に「うん・うん」と共感しよう。
  - ・当たり前って何?個別の理由が必ずある。その子の背景に寄り添う。
  - ・子供を一人前の人格者として求め、接すること。
  - ・体罰・暴言→本当はどうしたかったのか?どうすべきだったと思うのかを問う。
- 保護者と**
  - ・月1回の「生活がんばりカード」で生活改善と保護者との連携
  - ・つながる連絡に努め、親の努力や悩みに寄り添う。
  - ・怪我、持物紛失は当日の事実掌握・連絡
- 地域と**
  - ・ボランティア(パトロール隊)と子供をつなぐ
  - ・ふるさととつながる⇒木屋瀬宿場町の歴史と伝統文化の継承
  - ・科学フェスティバル at 木屋瀬宿
- 管理職、教職員と**
  - ・報告、連絡、相談の徹底(知らないことには対応できない)
  - ・**綱紀粛正**; 交通事故、飲酒運転、公金取扱、情報管理、セハラ・パワハラ
  - ・トラブル発生⇒正確な事実確認・管理職連絡・チームで対応
- 学校外と**
  - ・電話、外来者対応⇒明るく元気に(電話対応18時まで)
  - ・校内で知らない人を見かけたら必ずあいさつをして情報を得る
- 保・幼、中と**
  - ・木屋瀬中学校区保幼小中一環連携教育の推進
  - ・人権教育の推進(南同連で一体となって)
- 各種サークル、市教委、文科省等と**
  - ・よい授業や、新しい施策等を積極的に取り入れる

## 健康・安全教育の充実

- ・コロナウイルス対応、NO!3密、検温・健康観察重視
- ・8:35までに健康観察、8:40までに居所把握。
- ・怪我は原因究明し、保護者へ**当日**必ず連絡する。(連絡帳は×)
- ・怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず相談を。
- ・不登校対応;タブレットの活用、定期的な連絡を欠かさない
- ・安全管理(月一回)、防災訓練(学期一回)

## 教師の働き方改革→子ども主体の学校へ

- ・持合い授業⇒学級を超えての指導が当たり前
- ・学校行事の見直し;フェスタ・プロジェクトチームで
- ・**時間外勤務月45時間・年360時間以内**、年休5日以上、土・日報告
- ・学年定時退校○曜日、主任が帰る努力を
- ・会議削減、伝達は短く、校支援回覧板の活用、白板に書く、意見は短く
- ・空いた時間で教材研究、研究会やサークルに参加し自己研鑽に努める

## 食育の推進

- ・フッ化物塗布推進による虫歯予防 手洗い習慣化、
- ・給食時間(12:20~13:05)13:20までに終わる
- ・アレルギー誤食防2重、3重のチェック
- ・アレルギー対応おかわり禁止、食中毒、異物混入の防止(引率)
- ・調理や火気を使うときには管理職へ事前連絡

今年は;①**子ども主体のフェスタ(行事・発表・探求)**、②**防災教育研究指定校(様々な場面で自己決定する力)**、③**コグトレの指定校(広島大学との連携)**をベース、④**思考力を育てる生活科・理科ノート、自学**